

定期報告

2011年5月11日

天候:晴れ

放射線量:0.09 μ Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

食事 夜:レトルトカレー、トマトレタスサラダ、リンゴ、オレンジ(松原医師チーム提供)

氏名:石崎仁(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

4:40 起床

5:55 皆に見送られて弘前本部出発

7:25 岩手山SAで休憩

8:10 東和IC到着

9:44 ホームセンターで必要物資を買い出し、トイレ休憩とする

9:50 長い仙人峠トンネルに入る。排煙が籠り視界が悪い。

仙人峠道を抜けて釜石市内へ入る

県立釜石病院横を通る。救急患者の受入が出来るまで機能回復しているようだ。

10:55 釜石市内で早めの昼食をとる。

買い出しを終え、一路大槌町へ向かう。

釜石駅周辺は、前回二次支援チームが訪れた時は停電していたようだが、電気は復旧していた。

11:15 大槌高校へ到着

救護所にて十和田中央病院チームに挨拶。

引き継ぎまで時間があつたため、宿泊所となる2階物理室に向かう。

青森チーム松原医師・赤平看護師長・松井看護師に改めて挨拶。

長野チームにも挨拶する。

11:30 十和田中央病院チームから引き継ぎを受ける

13:00 午後の部 診察開始

調剤業務に関しては、概ね弊社チームから引き継いだ通りであったが、保健室内診察室の配置を若干変更したようだった。

やや勝手が違ったが、次第に慣れる。

つくし薬局からの問い合わせが2件あつたが問題なく解決。

16:00 無事、午後の部を終える

17:00 釜石市の災害対策会議には長野チームが参加。

留守を預かる青森チームは、本日当直担当となる。

釜石市会議会場までの道を覚える必要もあったため、松原医師の許可を受けて肥後薬剤師と総務担当が出かけた。

送り出した後は、救護所に留まって、残りの仕事片付けと明日の準備をした。

18:40 夕食を青森チーム7名で一緒に食べた。

メニューは総務担当が準備し盛りつけたカレーライスにサラダ付き。

食後のオレンジを松原医師チームよりご馳走になり、持参のリンゴも皆で食べる。

食後に雑談するも、当直の時間となり、松原医師と看護師2名が当直室に移動。

これまで薬品庫にしていた管理室を当直室に代えたということだった。

自分の携帯番号を松原医師に伝え、調剤必要時の呼び出しをお願いした。

残った薬剤師3名(長野1名と青森2名)は、業務の流れ改善と在庫手配のため救護所に戻り確認作業する。

22:00 消灯

23:00 誰かの寝息が聞こえてきた。

松原医師が当直のため、携帯電話を気にしながら眠りについた。

氏名:肥後佳範(薬剤師)

体調:良好(車酔いあったが大槌高校到着時に回復)

行動日誌

5:55 本部出発

7:30 高速道路はデコボコがあり、工事中のところも随所で見られた。

岩手山SAエリアにて、JMAT 青森チーム松原医師と出会い、ご挨拶と大槌町での再会を確認。

10:30 釜石で必要物資補充と早めの昼食。

11:30 大槌高校到着。

十和田中央病院より引き継ぎ。長野県東御市立みまき温泉診療所チーム到着。

13:00

午後の診療開始、青森・長野チームとも初回のためか、勝手が違いやや混乱する。薬剤師が3人いることでもっと患者さんへの服薬指導や医師とのコミュニケーションに時間が取れると思っていたが、調剤行為自体に多くの時間を費やしてしまった。業務分担を明確にして改善を図ることとした。

今まで飲んでいた薬や慢性疾患用薬は救護所外の処方せん対応となっているため、風邪や腰痛などの急性疾患患者の調剤・投薬を担当した。

医師の処方したい薬の在庫がないため、同効薬への処方提案などはよくできたと思う。

長野県チームが5月14日をもって派遣終了となることを聞いた。15日以降は青森県チームのみとなるため、13日までしかいない我々は今後の4次、5次派遣隊がスムーズに支援が行えるように体制を作ることが必要と感じた。

17:00 青森チーム当直。長野チームカンファレンス参加のため、松原医師の許可を得て石崎薬剤師が当直に残り、肥後が長野チームとカンファレンスに参加した。

18:00 夕食をとりながら松原医師チームと大槌町の近況の変化について談話。

工藤総務担当の2次派遣の経験に興味深そうに耳を傾けていただいた。

20:00 青森チーム当直

21:00 薬局内整備。長野チーム小林薬剤師と共に明日の業務分担を確認。

スムーズに調剤が行えるよう動線を確認。

22:00 就寝。

大槌町の人たちは、物資的にめぐまれているとのことだが、かなり力強く生活している。復興作業も数日で景色が変わるようだ。

問題は、青森県 JMAT が5月いっぱい派遣終了となってしまうかもしれないことだ。まだ避難者の多くは出かける足がないため、遠くの病院、診療所へ行くことに無理がある。バスの配備など自治体に行ってもらふことの必要性を感じた。

氏名:工藤源造(総務担当)

体調:良好

行動日誌

5:55 本部出発

昼食、休憩を取りながら

11:30 大槻高校到着

到着後、引き継ぎ作業開始

13:00 午後の診療開始

13:30 物資搬入及び宿泊所整理

15:00 大槻町内視察

佐藤係長同行で町内の案内、調査をした

4日間不在の間に釜石市内には電気が来ており信号が点いていた

大槻町内では被災家屋の片付けが急ピッチで進んでいた

16:30 診療終了

17:00 釜石災害対策本部ミーティング

長野チームの番であったが、青森チーム(肥後薬剤師、佐藤係長、工藤)3名で見学に行く

18:00 帰着、業務終了

今回、4日間あけて再度大槻に入りました。復興がかなり進んでおりその速さに正直びっくりしました。今回は、3日間の支援ですが最後まで一生懸命頑張りたいと思います。

氏名:佐藤栄(総務担当)

体調:良好

行動日誌

5:55 弘前本部出発

7:26 岩手山サービスエリアでトイレ休憩

11:30 大槻高校到着及び引継作業

初めてのことなので足を引っ張らないように頑張りました

13:30 工藤課長指示のもと弘前から積んできた荷物を搬入 整理整頓

15:00 大槻町視察 自然の脅威を感じました

16:30 釜石駅前のシープラザ釜石でのカンファレンスに工藤課長、肥後薬剤師と参加

18:00 夕食支度 レトルトカレーを準備、ご飯を炊いた。

今回被災地に来て見て、テレビで観て想像していたものとは随分違い悲しい現実でした。改めて自然の脅威を感じ現地の人の力になりたいと思いました。